

## T I S インテックグループ 2017 年 年頭所感

T I S インテックグループの TIS 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：桑野 徹、以下 TIS）は、グループ各社の「2017 年 年頭所感」を発表いたします。

【TIS 株式会社 代表取締役社長：桑野 徹】

明けましておめでとうございます。

本年 4 月より始まる 2017 年度は、「T I S インテックグループ」で掲げる中期経営計画の最終年度であり、2018 年度から始まる新しい中期経営計画を作成する年になります。中期経営計画の中でも、先端テクノロジーへの対応と活用を含める「イノベーション」を生み出すことは、重要なテーマの一つです。

「T I S インテックグループ」には、同業他社に比べても、多様な事業を展開し、幅広いナレッジ、技術、ノウハウがあります。長い社歴のあるグループの各社は、いずれも最初はベンチャー的企業からスタートし、今も挑戦する遺伝子を持っており、「T I S インテックグループ」発のイノベーションを生み出す条件は揃っていると考えています。こうした新しいビジネスを生み出す力で、「T I S インテックグループ」は、お客様と一緒にイノベーションを興していきます。

我々が業界で勝ち残り、新たな市場を開拓していくために、この 2017 年を、変革に向けてスピードを持ってビジネスを行い、グループの総力を集結していく年にしたいと思います。

「T I S インテックグループ」は、個社、個人の垣根を越え、国内海外を問わずお客様とがりスクラムを組んで進んでいきます。

【株式会社インテック 代表取締役社長：日下 茂樹】

明けましておめでとうございます。

2016 年は、6 月に英国の国民投票での EU 離脱決定、11 月にトランプ氏の米国大統領選挙勝利と世界に大きな衝撃を与える出来事があり、今後の世界情勢の行方は不透明感を増しています。国内では、4 月に熊本地震という大災害があったものの、リオオリンピックでの日本選手団の活躍や大隅良典氏のノーベル生理学・医学賞の受賞、ポケモン GO の世界的ヒット、YouTube でのピコ太郎の PPAP の大ブーム等、うれしい話題や楽しい話題も豊富な年でした。

インテックにおきましては 4 月に TIS との間で一部業務の再編、7 月にはグループブランドを「T I S インテックグループ」に変更し、グループとしても大きな変革の年になりました。

企業の IT 投資は、業界によって温度差はあるものの、全体としては引き続き高い水準が維持されました。その中でも、デジタルイノベーションとも言われる IT の進化により、企業がビジネス

や業務を変革し、これまで実現できなかった新たな価値を創出する方向への IT の活用が明確になった年となりました。

2017 年は、BigData、IoT、AI、Robotics、Fintech といったデジタル技術により、企業や社会の変革がこれまでにない速度で進む大変革期がスタートすると考えられます。

インテックはこの変革を事業成長の機会と捉え、お客様の「頼りになるパートナー」として IT の新たな可能性を追求し、技術力の向上、品質へのこだわりをもって、当社自身をさらに進化させるべく精進致す所存です。「T I S インテックグループ」のみならず業界をリードする気概をもって全力で取り組んでまいります。

本年も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**【株式会社アグレックス 代表取締役社長：山口 勝規】**

明けましておめでとうございます。

昨年は、BPO 事業の集約やベトナム・タイ現地法人の子会社化、メディカル事業の再編など、当社と関連子会社のアウトラインが大きく変化した 1 年になりました。

本年は酉年です。「果実が極限まで熟した状態、酒熟して気の漏れる状態」を表し、商売繁盛、成果が得られる年、変化が激しく騒々しい年などと云われます。当社においても、これまで実施してきた施策が結実し収穫できる年、そして更に進化していく年と云うことができます。

さて、本年、中期経営計画の最終年を迎えますが、BPO 事業の集約や利益率の向上を重要課題と位置付け、より一層推進してまいります。

また、海外事業の安定化や業務の標準化・品質向上、グループシナジーの発揮などについては、徐々に進展していますが、競争力を高める上で肝要な項目ですので、手を抜かず、引き続き全社的な重点施策として力を注いでまいります。

その他にも人材育成や女性活躍推進など、様々な経営課題が挙げられていますので、精力的に取り組み、さらに成長できるよう、着実に推進していく所存です。

本年もご愛顧の程よろしくようお願い申し上げます。

**【クオリカ株式会社 代表取締役社長：加藤 明】**

明けましておめでとうございます。

2017 年はクオリカビジョン 2020 実現に向けた中期経営計画第 2 フェーズの最終年となります。

中期経営計画のキャッチフレーズ【Plus One Innovation 2017】のもと、【先進 IT サービス事業】・【ベストパートナー事業】・【テクノロジーインサイド事業】・【テクノロジープラットフォーム】全ての領域において、更なるサービス・技術力の向上、社員ひとり一人のワンランクアップ、お客様へプラスワンの価値提供に引き続き努めて参ります。

また、本年は大手のお客様へのグリップ力を一層高めるとともに、従来の製造業、流通業のお客様向け IT サービス強化に加え、『クオリカ IoT』として、製造現場密着型 IoT や、非接触流量センサ活用、スマート林業など様々な領域で IoT/M2M ビジネスを積極的に推進します。

さらに海外向けには、既に展開している上海、シンガポール、インドネシアに加え、外食向けのサービス事業を中心にタイでのビジネス展開を本格化させます。

おかげさまで、2017 年 11 月に創立 35 周年を迎えます。

お客様にとって『なくてはならない存在』であり続けるために強みをさらに伸ばすとともに、

「T I S インテックグループ」の一員として、得意領域を活かし、時には牽引役、時には協働役として、お客様の価値創造に貢献して参ります。

本年も引き続きご愛顧賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

**【A J S 株式会社 代表取締役社長：河崎 一範】**

明けましておめでとうございます。

わが国経済は緩やかな景気回復基調で推移していますが、米国次期大統領の政策の行方等、世界全体では不透明な状況が続いています。

昨年は IoT や AI を活用しお客様の事業拡大に貢献すべく、懸命に取り組みました。そして IT 活用が経営を左右するということをあらためて実感しました。今後さらにお客様の経営に資する IT を提供していく挑戦を続けます。

また、昨年は「女性活躍推進法」元年でした。当社は、育児休業復帰率が男女ともに 100%と女性活躍のフロントランナーを自負しております。今後も、男女問わず働きやすく働きがいのある企業であり続けるよう、努力していきます。

まもなく 2017 年 3 月に当社は設立 30 周年を迎えます。30 年の成長基盤を築いた諸先輩や、日ごろお世話になっているお客様に感謝いたします。そして、ブランドメッセージである「Go Beyond」を合言葉に、設立 30 年となる今、2020 年の売上 200 億に向けて飛躍したいと思います。本年も引き続きご愛顧賜りますよう、お願い申し上げます。

以 上

**T I S インテックグループについて**

T I S インテックグループはグループ会社約 60 社、2 万人が一体となって、それぞれの強みを活かし、日本国内および海外の金融・製造・サービス・公共など多くのお客様のビジネスを支える I T サービスをご提供します。

**【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】**

TIS 株式会社 企画本部 コーポレートコミュニケーション部 浄土寺  
TEL : 03-5337-4232 E-mail : [tis\\_pr@ml.tis.co.jp](mailto:tis_pr@ml.tis.co.jp)